

1 | 各ブロック活動報告

活動内容

ゴミゼロ運動【秋・春】 (7県支部)

① 日時

2024年10・11月
2025年5月

② 場所

(福井県) ラポーゼかわだ
(愛知県・岐阜県・三重県・静岡県・
石川県・富山県) 各メーカー、各店ごと

③ 参加者

(R6年秋) 1,525名
(R7年春) 1,108名
合計 2,633名

④ 内容報告

参加人数の増加

秋・春合計で2,633名。昨年1,084名（春のみ）と比較し2.4倍。

福井県では、春に「ラポーゼかわだ」にて全メーカー一斉にゴミゼロ運動を実施した後、懇親BBQ大会（56名参加）を開催し、メーカー間の交流を図った。

静岡県、石川県では、参加者にドーナツ券を配布し参加の促進につなげた。

福井県支部（ラポーゼかわだ）



岐阜県支部（トーカイ羽島）



1 | 各ブロック活動報告

活動内容		三重県支部（バス内） 	
① 日時	三重県支部：2025年4月19日（土） 岐阜県支部：2025年5月31日（土）		
② 場所	三重県支部：長島温泉（三重県） 岐阜県支部：三方五湖、小浜（福井県）		岐阜県支部（三方五湖） 
③ 参加者	三重県支部：48名 岐阜県支部：20名		
④ 内容報告	<u>三重県支部</u> バス内ではメーカー間の交流を図り、到着後は皆さんで弁当を召し上がりました。 自由時間では、温泉、アウトレット、遊園地に分かれて自由時間を過ごしました。 <u>岐阜県支部</u> バス内ではお菓子を摘みながらメーカー間の交流を図り、三方五湖のレインボーラインで日本海や湖の絶景を楽しみました。また箸づくりを楽しく体験することができました。		

1 | 各ブロック活動報告

活動内容		DC協会ロゴ入りアルコールチェッカーの配布 (静岡県支部)	
① 日時	2025年5月		アルコールチェッカー 
② 場所	ゴミゼロ活動に合わせて、会員ごとに配布		
③ 参加者	配布数 30台		
④ 内容報告	1. DC会員へ協会の認知向上のためアルコールチェッカーの配布 ① DC協会の認知向上 ・ DC協会ロゴシールを作成し、アルコールチェッカーに貼付 ② 交通安全の啓発/法令遵守の推進 ・ アルコールチェック測定機器の提供 2. 配布に対してのご意見 測定機器に「DC協会のロゴ」が貼付されている為、日々の車両運転前後に必ず目にする。よって、DC協会の認知向上は勿論のこと、DC協会が交通安全の啓発活動を推進しているとの意識付けにもつながった。		

2 | 今後のDC業界における、新しい取り組み（チャレンジ）

発表する内容に○	☐	社会（地域貢献）
	☐	親睦による協会のPR活動
	☐	協会として実現したいこと
	☐	その他

■ 発表者	砂野 洋一
■ テーマ	①廃棄資材を災害備蓄品に活用 ②献血活動に協力 ③アルコールチェッカー配布
■ ブロック会 役員メンバー	会長 砂野洋一、副会長 小川譲二、同 楠芳高、事務局長 水谷 慎吾、監事 厚東和宏、役員 北井守、同 安藤研二、同 岩口透 吾

2-1 | 今後のDC業界における、新しい取り組み（チャレンジ）

チャレンジすること

- ① 会員各社が廃棄する予定のマット・モップを洗濯加工した上で、災害備蓄品として必要とする自治体に寄付をする。災害時の避難所入り口に設置するマットや施設内の清掃に使うモップとしての利用を想定。ハンドルは新品を購入。
- ② 集団献血の団体登録を各県の日本赤十字社血液センターへ行い、協会で献血協力カードを作成。会員各社の社員は献血会場でそのカードを提示して献血を行う。献血協力者には参加賞（ドーナツ券等）を進呈。
- ③ 安全運転管理徹底のためアルコールチェッカーを協会で一括購入し、協会名の入ったラベルを貼付したアルコールチェッカーを会員各社に配布。

チャレンジするためにやるべきこと

- ① 各自治体に災害備蓄品として廃棄品のマット、モップの需要があるかどうかをアンケート。
- ② 1拠点での献血協力者が30人以上の場合は献血バス手配が可能となるので、事前の献血協力者数の把握を行う。人数が上記に達しない場合は一般の献血会場に各自で行ってもらう。
- ③ 会員各社社員が個人でアルコールチェッカーを所持しているかどうか、と同時にそのアルコールチェッカーの使用期間を調査。

2-1 | 今後のDC業界における、新しい取り組み（チャレンジ）

協会本部に対する要望

特に無し

その他

特に無し